



2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月14日
東

上場会社名 株式会社クラレ 上場取引所
コード番号 3405 URL <https://www.kuraray.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川原 仁
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 (氏名) 滝沢 慎一 (TEL) 03-6701-1070
IR・広報部長
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	194,804	1.4	18,650	△35.2	17,826	△36.0	12,007	△44.4
2024年12月期第1四半期	192,183	3.9	28,793	35.0	27,861	36.6	21,614	165.1

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 △15,412百万円(—%) 2024年12月期第1四半期 57,033百万円(254.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	37.07	37.05
2024年12月期第1四半期	64.56	64.52

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第1四半期	1,264,735	757,012	58.5
2024年12月期	1,291,238	781,790	59.2

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 739,783百万円 2024年12月期 764,012百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	27.00	—	27.00	54.00
2025年12月期	—				
2025年12月期(予想)		27.00	—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	420,000	2.1	38,000	△16.4	36,000	△18.2	22,000	△27.7	67.93
通期	860,000	4.0	90,000	5.8	85,000	4.3	45,000	41.8	138.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年12月期 1 Q	324, 863, 603株	2024年12月期	324, 863, 603株
2025年12月期 1 Q	966, 640株	2024年12月期	996, 185株
2025年12月期 1 Q	323, 877, 119株	2024年12月期 1 Q	334, 773, 181株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 5 ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2025年1月1日～2025年3月31日)における世界経済は、地域ごとにばらつきが見られましたが、先行きの不透明感が一層増しました。日本は底堅い内需に支えられ、堅調に推移しました。一方、米国は個人消費に陰りが見られ、貿易政策の転換などにより減速しました。また、欧州では紛争長期化や一部地域の低迷を背景に、景気回復のペースが鈍化しました。中国では政府の景気刺激策により景気減速に歯止めがかかる兆しが見られたものの、不動産市場の低迷が継続しました。

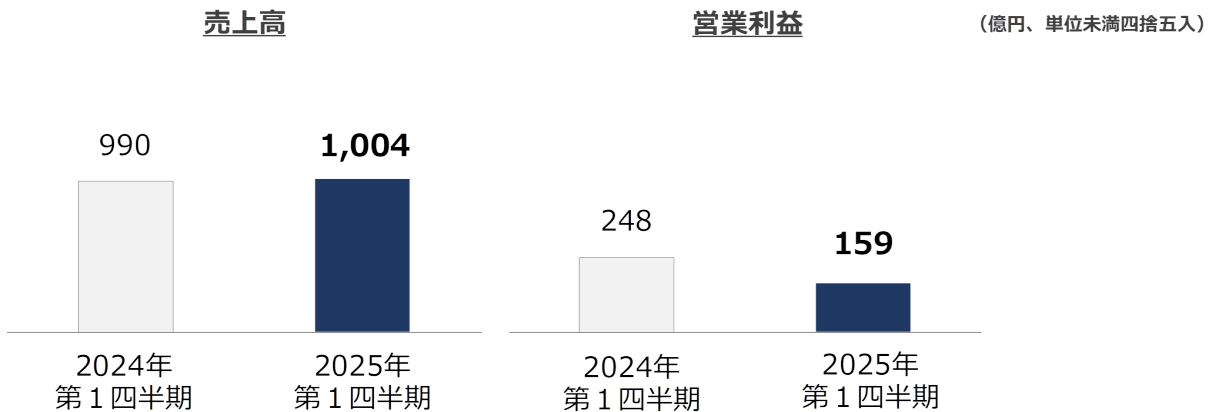
かかる環境下、当社グループの業績においては、売上高は前年同期比2,620百万円(1.4%)増の194,804百万円、営業利益は10,143百万円(35.2%)減の18,650百万円、経常利益は10,035百万円(36.0%)減の17,826百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は9,607百万円(44.4%)減の12,007百万円となりました。

(単位:百万円)

	2024年度 第1四半期 連結累計期間		2025年度 第1四半期 連結累計期間		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニルアセテート	99,041	24,788	100,434	15,917	1,393	△8,870
イソプレン	17,155	21	19,686	2,822	2,531	2,800
機能材料	48,733	3,242	47,607	2,006	△1,126	△1,235
繊維	13,829	△243	13,409	△598	△420	△355
トレーディング	15,317	1,336	16,659	1,377	1,341	40
その他	11,734	428	11,108	134	△626	△294
消去又は全社	△13,629	△781	△14,101	△3,009	△471	△2,228
合計	192,183	28,793	194,804	18,650	2,620	△10,143

[ビニルアセテート]

当セグメントの売上高は100,434百万円(前年同期比1.4%増)となりました。一方、営業利益は原燃料価格の上昇や在庫評価差額のマイナス影響を受け、15,917百万円(同35.8%減)となりました。



ポパール樹脂：販売数量は前年の欧州向け物流の混乱に起因した特需が一巡し、減少しました。また在庫評価差額や原燃料価格上昇によるマイナス影響がありました。

光学用ポパールフィルム：中国の家電買替支援策などを背景に販売は堅調に推移したものの、在庫評価差額によるマイナス影響がありました。

高機能中間膜：特殊アイオノマーシート〈セントリグラス〉は米州を中心に販売が順調に推移しましたが、PVBフィルムはアジアを中心に競争環境の厳しさが増しており、建築用途及び自動車用途ともに販売数量が減少しました。

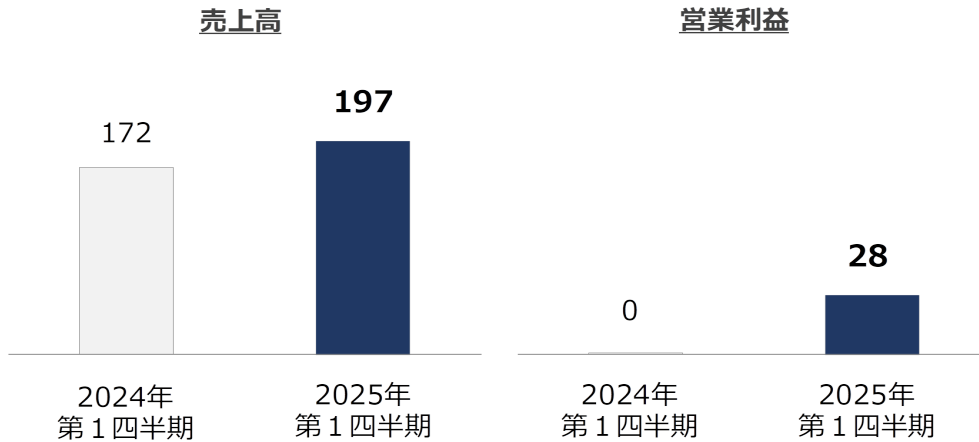
水溶性ポパールフィルム：個包装洗剤の需要が回復しつつあり、販売数量は増加しました。

EVOH樹脂〈エパール〉：欧米を中心に食品包装用途が順調に推移し、自動車用途も堅調だったことから販売数量が増加しましたが、原燃料価格の上昇等による影響がありました。

[イソプレン]

当セグメントの売上高は19,686百万円（前年同期比14.8%増）、営業利益は2,822百万円（前年同期は営業利益21百万円）となりました。タイ拠点の稼働安定及び当該拠点を活用した拡販による寄与がありました。

(億円、単位未満四捨五入)

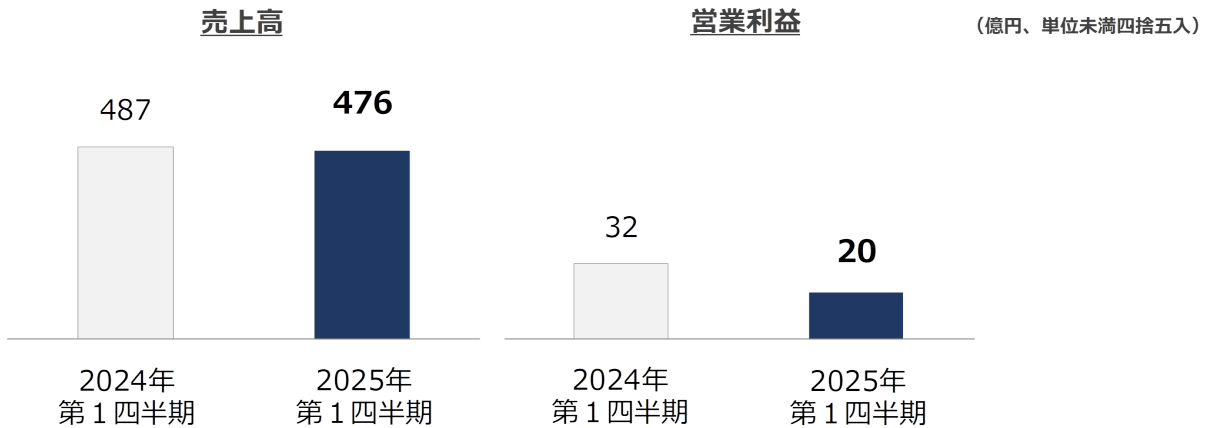


イソプレンケミカル・エラストマー：欧米を中心に需要が堅調に推移し、販売数量が増加しました。

耐熱性ポリアミド樹脂〈ジェネスタ〉：電気・電子用途の需要回復が力強く、また自動車用途での拡販も進み、販売数量が増加しました。

[機能材料]

当セグメントの売上高は47,607百万円（前年同期比2.3%減）となりました。営業利益は米国寒波や生産トラブルの影響等もあったことから、2,006百万円（同38.1%減）となりました。



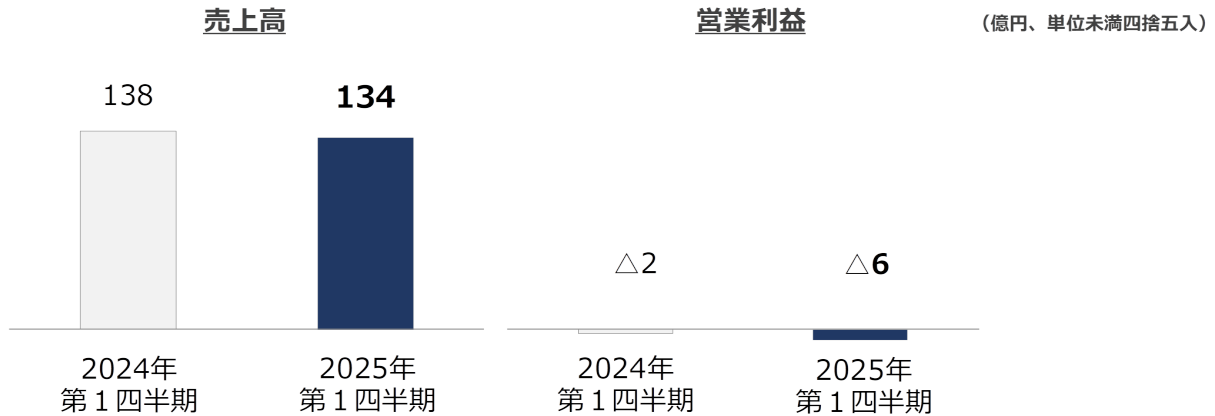
メタアクリル：一時的な生産トラブルにより販売数量が落ち込んだものの、交易条件は改善しました。

メディカル：審美治療用歯科材料の販売が欧米を中心に引き続き好調に推移しており、今後の拡販に向けたマーケティング強化を進めました。

環境ソリューション：欧州では産業用活性炭の需要低調が続きました。北米では需要は底堅く推移したものの、寒波や生産トラブルの影響がありました。

[繊維]

当セグメントの売上高は13,409百万円（前年同期比3.0%減）、営業損失は598百万円（前年同期は営業損失243百万円）となりました。欧州経済の低迷や自動車生産台数減少の影響等を受けました。

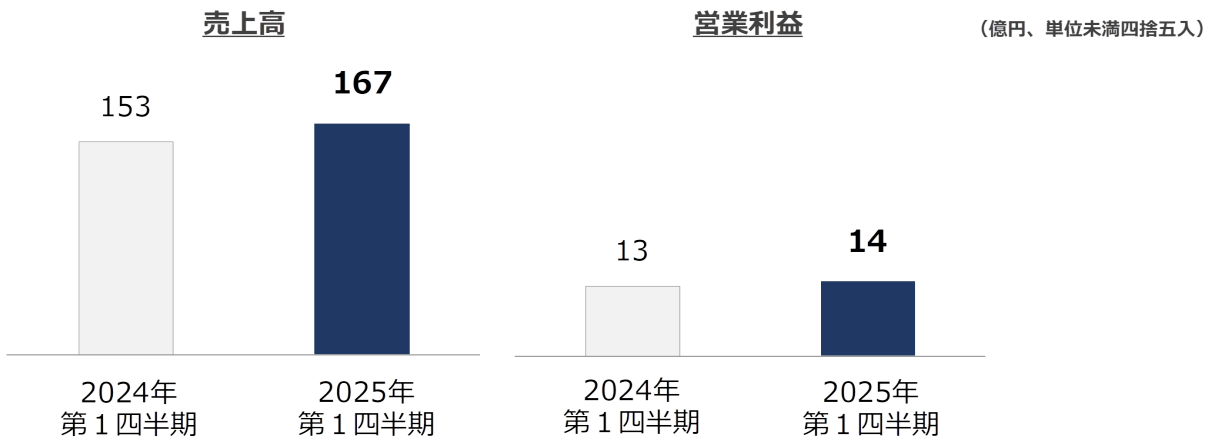


人工皮革〈クラリーノ〉：欧州市場での需要低迷や中国経済の成長鈍化、EV市場の在庫調整の影響等により、ラグジュアリー用途及び自動車用途の需要が落ち込み、販売数量が減少しました。

繊維資材：欧州の建材用途などが引き続き低調に推移しました。また、在庫評価差額のマイナス影響がありました。

[トレーディング]

当セグメントの売上高は16,659百万円（前年同期比8.8%増）、営業利益は1,377百万円（同3.0%増）となりました。

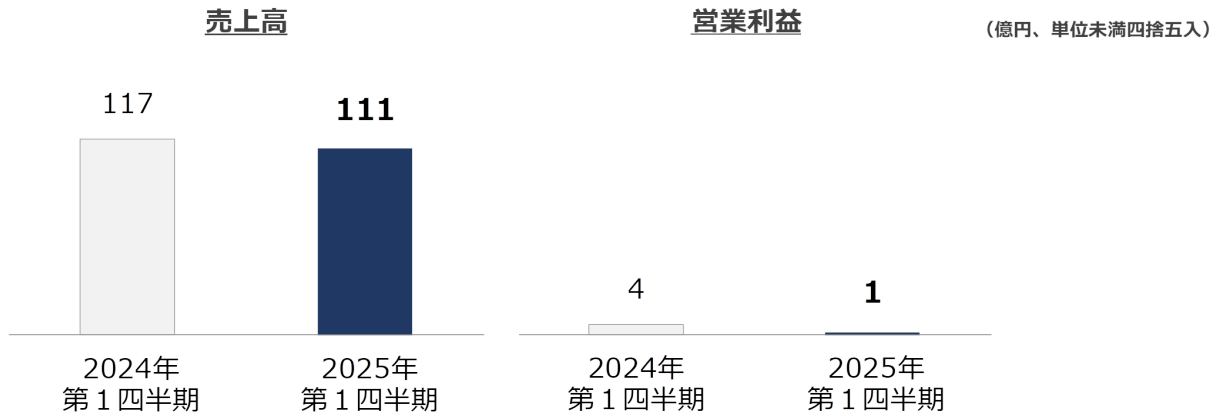


繊維関連事業：スポーツ衣料用途が順調に推移しました。また、高機能原糸や環境対応商品といった高付加価値品の拡販を進めました。

樹脂・化成製品関連事業：輸入品販売で交易条件の悪化による影響がありました。

[その他]

その他事業の売上高は11,108百万円（前年同期比5.3%減）、営業利益は134百万円（同68.6%減）となりました。



(2) 財政状態に関する説明

総資産は、棚卸資産の増加9,840百万円等的一方、有形固定資産の減少18,226百万円及び現金及び預金の減少8,804百万円等により、前連結会計年度末比26,503百万円減の1,264,735百万円となりました。負債は、有利子負債の増加12,474百万円等的一方、主として設備買掛金の減少に伴うその他流動負債の減少6,877百万円及び支払手形及び買掛金の減少5,069百万円等により、前連結会計年度末比1,725百万円減の507,723百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加3,259百万円等的一方、為替換算調整勘定の減少27,178百万円等により、前連結会計年度末比24,777百万円減の757,012百万円となりました。自己資本は739,783百万円となり、自己資本比率は58.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間（2025年1月1日～2025年6月30日）の業績予想については、足元の業績及び事業環境を踏まえて精査した結果、期初の公表値から変更はありません。なお、予想の前提としている平均為替は米ドル145円、ユーロ160円、国産ナフサ70千円／k1に見直します。通期業績予想については現時点では見直しをしておらず、第2四半期以降の状況により、修正の必要がある場合は速やかに公表します。米国の関税政策については、影響を定量的に予想することは困難であり、業績予想には織り込んでいません。引き続き状況を注視しつつ、適切に対応してまいります。

注：上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって変動する可能性があります。

(4) 利益分配に関する基本方針及び当期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益分配を経営の重要課題と位置付け、「親会社株主に帰属する当期純利益に対する総還元性向50%以上、1株当たり配当金の維持・増額、自己株式取得の継続的实施を目指す」を株主還元方針としています。この方針に基づき、2025年度の年間配当金額については、1株当たり54円とする予定です。また、2025年5月14日に公表の「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」のとおり、自己株式の取得を決定しました。取得の内容は以下のとおりです。

【取得の内容】

- | | |
|----------------|--|
| (1) 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得し得る株式の総数 | 2,200万株（上限）
（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合6.79%） |
| (3) 取得価額の総額 | 300億円（上限） |
| (4) 取得方法 | 自己株式取得に係る取引一任契約に基づく市場買付 |
| (5) 取得期間 | 2025年5月15日～2025年12月15日 |

今回取得する自己株式についてはその全株の消却を予定しており、消却株式数及び消却時期については決まり次第改めてお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	118,068	109,264
受取手形、売掛金及び契約資産	166,589	163,449
有価証券	3,624	1,992
商品及び製品	170,489	179,915
仕掛品	19,974	22,498
原材料及び貯蔵品	66,365	64,256
その他	21,109	24,671
貸倒引当金	△959	△903
流動資産合計	565,262	565,145
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	118,633	116,507
機械装置及び運搬具（純額）	292,153	278,571
土地	19,016	18,675
建設仮勘定	59,824	59,982
その他（純額）	50,757	48,420
有形固定資産合計	540,385	522,158
無形固定資産		
のれん	53,591	49,648
顧客関係資産	27,720	25,353
その他	34,586	33,338
無形固定資産合計	115,898	108,339
投資その他の資産		
投資有価証券	29,890	28,485
退職給付に係る資産	4,020	4,007
繰延税金資産	21,485	22,722
その他	14,388	13,967
貸倒引当金	△93	△90
投資その他の資産合計	69,692	69,091
固定資産合計	725,975	699,590
資産合計	1,291,238	1,264,735

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,561	54,491
短期借入金	23,850	33,830
コマーシャル・ペーパー	-	10,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	18,146	16,739
未払費用	20,394	21,628
未払法人税等	10,094	8,334
賞与引当金	10,772	11,940
その他	45,413	38,535
流動負債合計	198,231	205,499
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	142,286	136,188
繰延税金負債	24,385	24,432
退職給付に係る負債	31,417	31,580
その他	63,127	60,022
固定負債合計	311,216	302,223
負債合計	509,448	507,723
純資産の部		
株主資本		
資本金	88,955	88,955
資本剰余金	87,124	87,124
利益剰余金	396,752	400,011
自己株式	△1,462	△1,419
株主資本合計	571,369	574,672
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,684	8,229
繰延ヘッジ損益	127	186
為替換算調整勘定	183,693	156,514
退職給付に係る調整累計額	136	180
その他の包括利益累計額合計	192,642	165,111
新株予約権	270	229
非支配株主持分	17,507	16,998
純資産合計	781,790	757,012
負債純資産合計	1,291,238	1,264,735

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	192,183	194,804
売上原価	120,216	131,218
売上総利益	71,967	63,586
販売費及び一般管理費		
販売費	11,207	11,761
一般管理費	31,965	33,174
販売費及び一般管理費合計	43,173	44,935
営業利益	28,793	18,650
営業外収益		
受取利息	1,175	599
受取配当金	97	125
持分法による投資利益	95	69
その他	796	338
営業外収益合計	2,165	1,132
営業外費用		
支払利息	716	661
その他	2,381	1,296
営業外費用合計	3,097	1,957
経常利益	27,861	17,826
特別損失		
災害損失	-	691
事業整理損	-	555
固定資産廃棄損	251	153
特別損失合計	251	1,401
税金等調整前四半期純利益	27,609	16,424
法人税、住民税及び事業税	7,606	4,308
法人税等調整額	△2,117	△394
法人税等合計	5,489	3,914
四半期純利益	22,120	12,510
非支配株主に帰属する四半期純利益	505	503
親会社株主に帰属する四半期純利益	21,614	12,007

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	22,120	12,510
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,495	△454
繰延ヘッジ損益	△75	10
為替換算調整勘定	33,293	△27,321
退職給付に係る調整額	40	43
持分法適用会社に対する持分相当額	160	△201
その他の包括利益合計	34,913	△27,923
四半期包括利益	57,033	△15,412
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	56,496	△15,523
非支配株主に係る四半期包括利益	537	110

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、当第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	18,997 百万円	19,529 百万円
のれんの償却額	1,208	1,185

(セグメント情報等の注記)

(セグメント情報)

I. 前第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビニルア セテート	イソ プレン	機能材料	繊維	トレー ディング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	94,863	12,766	47,365	12,738	15,051	182,785	9,397	192,183	—	192,183
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	4,177	4,389	1,368	1,091	266	11,293	2,336	13,629	△13,629	—
計	99,041	17,155	48,733	13,829	15,317	194,079	11,734	205,813	△13,629	192,183
セグメント利益 又は損失(△)	24,788	21	3,242	△243	1,336	29,146	428	29,575	△781	28,793

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失の調整額△781百万円には、内部取引消去2,522百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,304百万円が含まれています。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費です。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

II. 当第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビニルア セテート	イソ プレン	機能材料	繊維	トレー ディング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	95,333	14,926	46,332	12,370	16,335	185,298	9,506	194,804	—	194,804
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	5,101	4,760	1,274	1,038	324	12,499	1,601	14,101	△14,101	—
計	100,434	19,686	47,607	13,409	16,659	197,797	11,108	208,906	△14,101	194,804
セグメント利益 又は損失(△)	15,917	2,822	2,006	△598	1,377	21,525	134	21,660	△3,009	18,650

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失の調整額△3,009百万円には、内部取引消去1,149百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△4,159百万円が含まれています。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費です。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。